

北海道新幹線開業戦略推進会議  
平成 26 年度第 1 回情報連携戦略部会、交通戦略部会 議事概要

- ・ 日 時 平成 26 年 4 月 25 日（金）13 時 30 分～15 時 05 分
- ・ 場 所 道庁別館 11 階 第 4 研修室
- ・ 出席者 別紙のとおり
- ・ 概 要

1 開会 （道新幹線推進室 渡邊主幹）

2 挨拶 道新幹線推進室 本間室長

- ・ いよいよ北海道新幹線開業まで 2 年を切った。
- ・ 北海道にとって初めての開業を成功させるため、残された時間の中で、気運醸成や二次交通ネットワークの充実といった様々な施策について、効果的かつ効率的に進めていく必要。
- ・ 先日函館方面へ出張し、駅舎や高架橋などを見てきたが、本当に開業が迫っているということを実感。道央圏にいと、そういった気運が高まっているという雰囲気はなかなか伝わってこないが、是非全道に波及拡大させていきたい。
- ・ 先月 28 日に開催した親会議において、様々なご意見をいただいたところ。取組の推進に当たって何よりも重要なのは、情報共有と連携であると考えている。
- ・ 道としても、この専門部会などを通じ、イベント開催や二次交通の整備といった諸課題について、コーディネート機能を果たしてまいりたい。
- ・ 今後ともご協力をお願い。

～本間室長、公務の都合により退席～

（道新幹線推進室 渡邊主幹）

- ・ 議事に入る前に、1 点報告事項。
- ・ 先月の親会議での意見交換において、新幹線建設工事の進捗状況について、鉄道・運輸機構と道庁のホームページの間で相互リンクをはるなどした方が良いとの意見があり、私ども事務局で検討し、リンクを貼るだけでなく、この戦略会議にも出席いただき情報提供・共有した方が良いのではないかということになり、鉄道・運輸機構にご相談したところ、快諾いただいた。
- ・ 本日は都合により出席いただけなかったが、今後の情報連携部会及び親会議において建設工事の進捗状況などについて情報提供をお願いできる予定。

3 議事

～以降、道新幹線推進室 山中参事が議事進行～

- （1）「第 2 回北海道新幹線開業戦略推進会議」（H26.3.28）における質問事項について資料 1-1（質問事項と回答）、1-2（北海道新幹線の概要等）に基づき、道新幹線推進室・渡邊主幹が説明

- ・資料1-1については、先月の第2回親会議における質問事項について関係機関・団体等からの回答状況を整理したもの。道のHPへの掲載を予定しているが、現時点で未定となっている回答については、各機関において公表・修正できる時期になる都度、事務局へご連絡いただければ、公開内容を更新していくので、よろしくをお願いしたい。
- ・資料1-2については、北海道新幹線に関する基本的な情報について整理したものである。ご承知の内容も多いと思うが、先の親会議でのご意見を踏まえ、機会を捉えて情報共有をした方が良く、改めて情報提供させていただく。

#### (JR 北海道)

- ・この度、北海道新幹線用車両として「H5系」の車両デザインを発表。JR東日本のE5系をベースとした車両を4編成40両製作。車両形状はE5系と同様であるが、一部カラーリングが異なっている。車両の落成時期については今年の秋に第一編成が落成する予定。車両の概要としては、10両のうち仮称新函館側の先頭車両にグランクラス、次にグリーン車、残りが普通車といった構成。それぞれ座席イメージは資料の図のとおり。
- ・新幹線車両の関係についてのお問い合わせは、JR北海道の広報担当へお願い。

#### ～質疑なし～

#### (2) 平成26年度における開業関連PRイベント・プロモーションについて

##### 資料2-1、2-2に基づき、道新幹線推進室・渡邊主幹が説明

- ・資料2-1については、全道の振興局を通じて、道内全市町村と観光団体、商工団体に対し北海道新幹線の開業関連のPRイベント・プロモーションの予定について調査を実施した結果を一覧表としてとりまとめたもの。
- ・本資料の作成の意図としては、これまで様々な主体がバラバラで各種プロモーション・イベントを実施してきた状況について関係者から指摘を受けてきた。そうしたことから、今年度予算でどの程度イベント等の実施予定があるのか、また、時期はいつ頃予定しているのかをお聞きし、一覧表として単純にプロットした。
- ・例えば、道央と道南、東北、北関東といったエリア毎に類似のイベント・プロモーションを考えている複数の団体がある場合は、合同での実施に向けて調整するとか、時期が多少ずれてもお互いに告知し合うといった形で協力・連携して実施するなど、調整をしていきたい。
- ・調整イメージとしては、資料2-2のとおり。道央圏でいえばオータムフェストや雪まつり。道外向けには、北関東・東北方面へのプロモーションについて連携しながら、統一感を持った取組となるよう調整していきたい。
- ・もとよりすべてのプロモーションを事務局が調整するのは困難なことから、道央、道南、北関東、東北といった4エリアにおいて核となるイベントを設定し集まっていたといただくといったことを考えている。
- ・近隣のイベントに参加したいなどのご意向があれば、この一覧表を参考にして、積極的に調整していただきたい。
- ・道としてのイベント予定については、現在プロポーザルによる企画提案の募集中で

あり、かなりアバウトな表記となっているが、資料2-2にあるようなイベントを核としながら関連する取組を予定している団体の皆さんにもお声掛けをするなど調整をしていきたいと考えている。

- ・皆さんのところでも、イベント・プロモーションについて委託予定だが、まだ場所や時期が決まっていないなどといったことがあると思うので、それだったらオータムフェストに行こうとか大宮のイベントに相乗りして出ようといったことについてご検討をお願いしたい。
- ・検討の結果、変更、調整の希望があれば、5/16までに任意様式により事務局へお寄せいただきたい。
- ・また、一部振興局から既存の観光イベントについて新幹線の冠をつけたいといった意向が寄せられており、そうした情報なども含めて、さらに一覧表のバージョンアップに努めていきたい。

#### (道経連)

- ・イベント予定を単にプロットしただけとの説明であったが、もう少し大きな柱を決めてもらいたい。また、今年度だけでなく来年度のスケジュール感も盛り込んでもらいたい。
- ・JR 北海道が入っていない。例えば、JR 東日本と組んで7月から予定している青函重点販売キャンペーンなどあると思う。
- ・キャンペーンも道内向けと道外向けといった視点が必要だと思う。
- ・北陸新幹線の開業イベントとして、金沢が今年10月に東京で実施予定と聞いており、そうした情報についても、一枚に収めるのは難しいかもしれないが、是非入れていただきたい。

#### (道新幹線推進室)

- ・ご意見を踏まえて、次回に向けて必要な修正等を行いたい。

#### (函館市)

- ・新幹線開業イベントについて資料を用意。新幹線開業に向けた取組を進めるため、庁内にプロジェクトチームを設置。イベントについては開業前、開業時、開業後の3段階で予定。
- ・開業前については、26年度から取り組んでおり、10月に五稜郭公園でキックオフイベント、来年3月に一年前カウントダウンイベントを函館駅周辺で予定。
- ・青森市との間で、ツインシティ提携25周年を迎えることから、新幹線開業記念イベントとして青森市と連携した取組を進める予定。
- ・開業に向けた気運醸成としては、Webサイトによる情報発信やJR北海道に協力をいただき新幹線車体を模したラッピング電車・路線バスの運行といったことを予定。開業時や開業後のイベントも予定しているが、近隣の自治体と一体となって盛り上げていきたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。

#### (北斗市)

- ・開業イベントに関しては、既存の観光関係イベントは引き続きやっていきたい。ただ、2月に市長選があったばかりで、政策的経費はまだ決まっていない。
- ・北斗市としての26年度、27年度の取組の考え方についてお示しできるようにして

いきたい。

- ・新駅の建設は順調に進んでおり、今後の情報発信の象徴として考えたい。また、最近作成した市のPRキャラクターについても新たな要素として活用していきたい。道庁や関係機関のご意見をいただきながら取り組んでいきたい。

(木古内町)

- ・財源的に小さな町であり、知名度も低いことから、単独でのプロモーションもなかなか難しいので、道庁や観光振興機構、函館市などと足並みを揃えて一緒にPRに取り組んでいきたい。
- ・今年度、官民による開業実行委員会を設置し、今年度、来年度に向けた開業イベント、記念事業などについて検討していきたい。周辺自治体とも様々なことを考えていきたい。

(道南地方期成会)

- ・渡島総合振興局として、5月24日に高架橋レールウォークとして、北斗市と木古内町の駅で実施予定。メディアに募集案内を掲載していただき、24日時点で定員500人を超える900人以上の応募があり、最終的には千人を超える見込み。
- ・2年後の開業Xデーに向けて。東北新幹線新青森開業時においては、駅設置市だけでなく、沿線から遠く離れた地域も含め、青森県全体を挙げて開業イベントを実施した。今回の開業時にも道南は勿論、隣接の道央圏の振興局とも一緒に盛り上げていこうと言っている状況。

(新函館開業対策推進機構)

- ・平成26年度の事業方針については、来月予定の定時総会において承認いただく予定。プロモーションの継続事業については、資料2-1に記載のとおり進めていきたい。

(3) 官民による実行委員会方式に向けた検討について

#### 4 その他

株式会社ビーティス代表取締役社長・高野元氏から、「路線バス目的地検索サービス～Mokuikuuについて～」説明